

慶進中学校・高等学校
進学指導部
令和4年5月2日発行

掴め君の未来を！

令和4年5月号

3年生は、受験の年を迎え、進路意識も高まる時期ですね。この時期に受験生になっているかが重要ですが、焦りを感じている人もいないのではないでしょうか。5月の連休を活用し、これまでの学習の遅れを取り戻しましょう。また、受験生としての学習スタイルができていないか、受験に必要な段取りやスケジュールを把握できているか、保護者と進路について話しているかについて、確認してください。もしできていないと思うならば、さっそく実行しましょう。

1・2年生も「気持ちを新たに頑張ろう」と思っている人も多いと思います。5月は、今年度初の定期テストである中間試験があります。早めに準備を始め、成績アップに努めましょう。ボランティアや体験活動など、外部の活動に積極的に参加することも大切です。また、英検などの検定試験にも挑戦していきましょう。

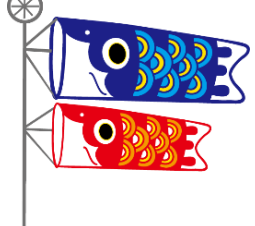
●大学入試トピックス

① **2022年度入試(3月に卒業した先輩が受験した入試)の動向分析** (旺文社教育情報センターのHPの記事より抜粋)
【国公立大】 志願者数は全体で約42万9千人と、前年(2021年)に比べ1%増。共通テスト(以下、共テ)の平均点大幅ダウン(=難化)の逆風下でも「初志貫徹」の傾向が見られ、東京大など難関国立大の志願者も増えました。また、国立大後期は募集定員減(2%減)にも関わらず4%増。コロナ禍に伴う、家計不安などによる国公立大志向の強まりから、最後まで粘る姿勢が見られました。一方、公立大は前期5%減、後期6%減で、共テ難化の影響をより受けやすい少数科目型が敬遠された模様。前年の反動も顕著に見られました。
【私立大】 2月22日現在の、主な2月入試の志願状況を見ると、志願者は前年比1%増。前年の志願者14%減による易化の反動が予想されましたが、家計不安による併願数絞り込み、学校推薦型・総合型選抜の合格者増などから、志願者数がコロナ禍以前の水準に戻らない大学が多数を占めました。各大学の独自入試が3%増加。一方で、共テ利用方式は2%減、独自・共テ併用方式が3%減。特に、共テの後に願を締め切る方式は、平均点ダウンの影響を受けました。

② **2023年度一般選抜入試(現3年生が受験する入試)のスケジュール** (ベネッセハイスクールオンラインの記事をもとに作成)
 ※未発表の日程については例年のものを記載しています。変更の可能性がありますので、常に最新の情報を確認してください。

☆国公立大学		☆私立大学	
6月～	選抜要項発表	6月～	募集要項が出始める
9月上旬	共通テスト受験案内配布	9月上旬	共通テスト受験案内配布【共通テスト利用方式】
10月上旬	共通テスト出願	10月上旬	共通テスト出願【共通テスト利用方式】
12月までに	募集要項発表	12月～	出願開始(1月前半が多い)
1/14・15	共通テスト(本試験)	1/14・15	共通テスト(本試験)【共通テスト利用方式】
1/21・22	共通テスト(追試験)	1月末～	入学試験【一般方式・前期】(2月前半が多い) 〈合否選考〉【共通テスト利用方式・前期】 →合格発表(2月後半が多い)
1/23～2/1	個別試験出願	前期終了後	出願開始【一般方式と共通テスト方式・後期】
2/25～	前期試験	2月後半～	入学試験【一般方式・後期】 〈合否選考〉【共通テスト利用方式・後期】 →合格発表
3月上旬	前期試験合格発表		(私立大学のスケジュールは、大学・学部により大きく異なります。)
3/8～	中期試験		
3/12～	後期試験		
3/20～	中期、後期試験合格発表		
3/28～	追加合格者・欠員補充募集開始		

※各大学の共通テスト利用方式の出願締切は、共通テスト受験前のほか、共通テスト受験後の大学もあります。



③ **2025年度新課程入試(現1年生が受験する入試)について** (『ガイドライン2022年4・5月号』(河合塾)の記事をもとに作成)

現1年生が受験する入試は、学習指導要領の改訂に伴い、共通テストの出題教科・科目が、右の表のように再編されます。特に教科「情報」の新設、地理歴史・公民の再編、数学②の出題範囲の変更がポイントとなります。また、今年1月には国立大学協会より、2025年度入試では、原則的に「情報Ⅰ」を含む6教科8科目を課す方針が出されました。各大学は、入試教科・科目の予告を今年度中に公表する予定ですので、1年生は新しい情報に注意してください。

参考資料 2025年度大学入学共通テスト教科・科目

教科	出題科目	試験時間	教科	出題科目	試験時間
国語	「国語」	90分	数学	①「数学Ⅰ, 数学A」 「数学Ⅰ」	1科目選択 70分
地理歴史	「地理総合, 地理探究」 「歴史総合, 日本史探究」 「歴史総合, 世界史探究」	1科目60分 2科目130分 (解答時間120分)		②「数学Ⅱ, 数学B, 数学C」* *数学B・数学Cについては、各2項目出題のうち3項目を選択解答	70分
	公民		「地理総合, 歴史総合, 公共」* *いずれか2科目の内容を選択解答 科目と同一名称を含む科目の組合せ不可	5科目から最大2科目選択	1科目60分 2科目130分 (解答時間120分)
外国語	「公共, 倫理」 「公共, 政治・経済」	必履修科目を含む6選択科目へ	理科		
	「英語」 「ドイツ語」 「フランス語」 「中国語」 「韓国語」	1科目選択 英語は別冊でICレコーダーを使用する試験を実施	80分 ICレコーダーを使用する試験60分 (解答時間30分)	「物理」 「化学」 「生物」 「地学」	「情報Ⅰ」

●先輩の合格体験記

昨年度、大学に合格した先輩の体験記を一部抜粋して掲載しています

東京大学理科一類 (中高一貫コース卒業)	福岡県立大学看護学部 (アドバンスコース卒業)	山口大学経済学部 (グローバルコース卒業)
【先輩へのメッセージ】 受験勉強をする上で最も重要なのは、学問を楽しむことだと思います。学問を楽しむことができれば、受験勉強の多少の苦難は乗り越えられるでしょうし、勉強のモチベーションも上がると思います。 【勉強のやり方について(数学)】 高1までに『チャート数Ⅰ・A、数Ⅱ・B』を数周して、基礎を完璧にした。高2夏から模試過去問や京大数学の過去問を利用し、演習を重ねた。数学は積み重ねが重要な教科なので、日々触れるようにしました。 【勉強のやり方について(英語)】 英語も数学と同様、積み重ねが重要な教科です。高2夏迄に基礎的な文法力と教科書の英文が完全にわかるような読解力を身につけましょう。高3頃から模試過去問や大学の過去問などに取り組みましょう。	【先輩へのメッセージ】 受験まで辛いことが多いと思いますが、第一志望大学に合格できるよう頑張ってください。模試や定期試験の結果に落ち込んだりせず、自分を信じて努力していきましょう。周囲に流されず自分の意思をしっかりと持ち、夢に向かって頑張ってください。応援しています!! 【生活リズムで気をつけたこと】 私は集中力が保てない方だったので、塾で21:30まで勉強し、帰ったらすぐ寝るようにしていました。その代わり朝早く起きて復習したり、電車で参考書を見たりしました。SNSなどのアプリは使用時間に制限をかけ、YouTubeは、3年になってから消し、見られないようにしました。休みの日でも生活リズムをくずさないことが一番大切だと思います。	【先輩へのメッセージ】 私は高校2年の時に山口大学に行きたいと思うようになりました。明確な志望校を決めることで勉強のモチベーションを高めることができます。入試は1回勝負になるのでそこまでの準備が大切です。継続して勉強を続けることと大学の傾向をつかみ対策することが大切です。後悔しように頑張ってください。 【校外活動で頑張ったこと】 私は、部活動やGCの授業内の校外活動がほとんどでした。1回1回の活動を有意義なものにできるように、積極的に活動することを頑張りました。特に総合型選抜や学校推薦型選抜では、ボランティア活動などの校外活動がアピールポイントになりますので、積極的に取り組むと良いと思います。

●確認しよう！入試区分

大学受験には様々な入試区分があります。入試区分の特性をしっかりと理解し、自らの受験方法を考えましょう。

総合型選抜 (旧AO入試)	学校推薦型選抜 (旧推薦入試)	一般選抜
・エントリーシートなどの受験生からの提出書類のほか、面接や論文、プレゼンテーション、グループディスカッションなどを課し、受験生の能力・適性や学習に対する意欲などを、時間をかけて総合的に評価する。また、国公立大学の中には、共通テストを課す大学もある。 ・校長の推薦を必要としない。原則「専願」制。 ・出願の目安: 9月～	・出願に校長による推薦が必要。書類審査(調査書・推薦書・志望理由書など)+小論文+面接が中心。プレゼンテーション、口頭試問、各教科目のテスト、資格・検定試験の成績、共通テストなど学力を確認する評価方法が活用される。公募制・指定校・姉妹校推薦などがある。 ・公募制推薦: 大学側の出願基準を満たし、校長から推薦があれば、どの高校の生徒でも出願することができる。原則として「専願」制であるが、一部の私立大学で「併願」を認めている場合もある。 ・指定校推薦: 大学から指定を受けた高校の生徒しか出願することができない。「専願」制。 ・出願の目安: 11月～	・国公立大学は、1月14日・15日に実施される共通テストと各大学が実施する個別試験とで、総合判定される。前期・中期・後期の最大3校の受験可能。 ・私立大学は1月末～3月に大学ごとに入学試験が実施される。受験日が被らなければ何校でも受験可能。 ・出願の目安: 左スケジュールを参照

●小論文講座を実施しました

4月19日(火)に、株式会社学研教育みらいの波多野洋司先生をお招きし、「小論文講座」を実施しました。また、希望者を対象に、「医療系志望者用ガイダンス」を実施していただき、医系小論文への取り組み方や重要テーマなどについてのお話を伺いました。



医療系志望者用ガイダンスの様子

小論文を書くにあたって～メモ書きの重要性 (講座の内容の一部)

●自分とは逆の立場の意見を想像してみる。
 課題文の筆者の意見に賛成・反対など自分の意見を明確にして意見を展開するような場合は、自分とは異なる立場や意見に触れておくことで、客観的に考えることをアピールできる。(確かに～しかし～)

●与えられた課題のプラス面、マイナス面を挙げてみる。
 課題文から2つの対立する意見・立場が読み取れる場合は、それぞれのよい面、悪い面を書き出した上で、どちらの意見・立場を支持するかを明確にすることが重要である。

●課題についての知識や関連する体験、ニュースを思い出してみる。
 課題文が指摘している問題の現状をとらえ、その原因・背景を指摘すると共に、今後への対策や提言を示すことが求められている。

5月の進学スケジュール

9日(月)	中間試験日割発表
16日(月)～19日(木)	中間試験
20日(金)	志望理由書・実践小論文模試リライト(Ⅲ希)
21日(土)	大学入試動向分析会(ⅢAS)
24日(火)	大学合同説明会 in keishin(Ⅲ)
27日(金)・28日(土)	ベネッセ総合学力マーク模試(Ⅲ)
28日(土)	実用英語技能検定(一次)